

そこに、古き佳き樹があれば

GM白壁櫻明荘に残された、
樹齢150年のムクノキ

緑の枝を大きく伸ばす樹の下で、あなたは何を想いますか？

風に吹かれながらやすらいだ後、ふと梢を見上げて

その樹が生きてきた歳月に思いを馳せたことはないでしょうか。

数十年、もしかしたら悠々と百年を超える日々を。

ランドメゾンはその敷地に古き佳き樹々、つまり「既存樹がある場合、簡単に伐ってしまうのではなく、植栽計画に活かすことで守れないだろうかと考えます。

たとえ1本であっても、その地に長く根づいた樹は周りの自然環境とつながり、人々が愛する風景を形作ってきたものだからです。

もちろん、日々の暮らしの美しさや心地良さは季節が巡るごとに豊かになり、尽きることがありません。そこで、

集合住宅における「既存樹の活かしかた、守りかた」について取り上げてみました。

landscape before&after



GM大濠公園2011(福岡県) / ご近所の方々に愛されていた枝垂れ桜を保全。竣工後、無事に花も咲き、皆さんから非常に喜ばれた一例です。



GM桜坂ヒルズ(福岡県) / 石積み擁壁と樹木の位置を変え、再利用した例。樹木だけでなく、石積みも街の風景を作っている大切な要素なのです。

Detail design



GM白壁櫻明荘(愛知県) / 深い味わいを持つ石も残して、アプローチの土留めとして再利用しました。古材も可能な限り残して、活用しています。



GM白壁櫻明荘 / 駐車場の屋上には、元の風情を受け継いだ坪庭をデザイン。移設した灯籠を据えています。



GM桜山スタイル(愛知県) / 美濃石を用いた石積の植栽帯は、既存樹と新たな緑との混植によるものです。

1本の樹は地域の生態系に役立ちながら、人々の想いもつないでくれるのですね。(穂積)



「緑化」もいろいろ

ひとくちに「緑」と言っても、じつはいろいろあります。その土地で大きな枝を伸ばし、人々の目や心を養ってきた古き佳き樹も緑なら、日本の風景には馴染みの薄い外来種の樹や草花も緑です。

ほんの少し前まではどんな緑でもあればいい、多ければいいという風潮がありました。このころ、緑の質が重視されつつありますね。

「単に植物を植えさえすればいい」という緑化は簡単で二元的ですから、コストも抑えやすいです。だからそこに建物を建てようとした場合、敷地にもともとあった庭や樹木を惜しげも無く撤去して更地にしたり時代が長く続きました。更地に新たに緑を植える方が、建物の施工もしやすいわけですから(吉居)

「しかし日本にはそもそも、樹齢の長い大木をご神木として崇める精神性があります。夏には大きな木蔭で樹下の人に涼風を送り、秋には実をつけて鳥や小動物たちに食料を分け、春には花で人々の心を集めます。そんな大木をまた得ようと思つても、人間の手ですぐ作れるものではありません。いい樹、いい庭は長い年月をかけて育てられ、愛でられてきたものですから。

そこで私たちグラントメゾン(以下、GM)は、敷地に古き佳き樹木があれば撤去せずに活かす方法はないものかと研究し、実践するようになりました。もう13年ほどになります(石井)

いい樹木や石があれば、いかに活かすかを考え、持てる技を駆使します。それが、風景を創る者の務めですから。(石井)



GM白壁櫻明荘(愛知県) / 長屋門からエントランスに至るアプローチに残された見附みつけの庭。緩やかな曲線の美しさは往時のままです。

では、デベロッパーが国から緑化推進を義務づけられる以前から、既存樹の保存に力を入れてきたということでしょうか。

「そうです。既存樹の役割を認識し、集合住宅の計画にいかに関わり入れて活用するかというテーマに他社に先駆けて取り組んできたのは、私たちの誇りですね。その結果、地域の自然環境や街並みの保全にも役立つことができたのではないかと思います(石井)

を考へても老若が混ざっている方がバランスがとれやすい。人間と同じですね(笑)。

あと、由緒のある石や灯籠なども残して守った事例も多いんですよ。その敷地内で使えない場合はいったん別の場所で保管して、他の集合住宅で活かすケースもあります(穂積)

1本の樹が多くの生命を養う

既存樹を活かして守るために手間隙と技術、コストをかけるのは、得られる効果がよほど大きいのですね。

「まず最初に言えるのは、周辺の自然環境、生態系への貢献度ですね。樹齢が長いということは、そのほとんどが日本の在来種の樹木です。その土地の気候風土に馴染んだ在来種、たとえばクスギなどは1本で約600種の生きもの

を養っているという調査結果があります。そんな樹々を撤去してしまえば、野鳥や小動物、昆虫など多くの生きものが棲み家や餌場を失い、生態系の劣化につながるのです。

積水ハウスが「生物多様性」を重視して日本の在来種の植物をラインナップした「5本の樹」を推進しているのもそのためで、ちなみに外来種のヒマヤスギは1本で約30種の生きものしか利用しません(石井)

「もう一つ、街並みの保全効果も大きいですね。古き佳き大木はその土地の所有者だけでなく、街の人々にとっても大切な風景の一部ですから、着工前に近隣説明会を開くと、皆さん、まずそのことを心配されます。樹は適切に保全しますとお伝えすると、とても安心してくださいますね(吉居)

あるのをご覧になると、何ともいえない懐かしい表情を浮かべられます。既存樹は地域社会とつながり、人の気持ちをつなぐ象徴としても機能するのだと思います(穂積)



多くの樹々は周辺の自然とつながって、緑のネットワークを形成しています。既存樹を残せばそのネットワークを途切れさせず、より豊かにすることができるのです。



「計画者と造園家、場合によっては樹木医も参加して協議します。樹齢があつても樹木としての生命力はそれぞれですから、ケアもしなければなりませんし、樹木の位置に合わせ建物や配置しにくい現場はいったん造園会社の植え溜まりに移植して保管し、建物が完成

「計画者」造園家、場合によっては樹木医も参加して協議します。樹齢があつても樹木としての生命力はそれぞれですから、ケアもしなければなりませんし、樹木の位置に合わせ建物や配置しにくい現場はいったん造園会社の植え溜まりに移植して保管し、建物が完成

「今ではGMの事例をお手本にして取り組みを進める企業も増えてきたと聞いています。GMの緑が日本の緑のグレードを高めつつあると思えば、ちよつと嬉しいですね(笑)(穂積)

由緒ある樹々を残す、移す

ただ、そこに多くの人や機材が入つて建物を建てるわけですから、樹木の保全は「筋縄ではいきそうにありませんね。まず、何から着手するのですか?」

「最初に私たちが検討するのは、本当に残すべき樹木、庭なのかどうかです。たとえばGM白壁櫻明荘の場合、もとは名古屋の著名な実業家の別荘として建てられた明治時代の邸宅で、書画や茶道、作庭にも造詣が深い趣味人が施主でしたから、邸内にそれは見事な庭が5つもありました。その後持ち主が変わつて料亭になつても、庭はそのまま活かして使われてきたんです。そこでGMでも庭を保存し、アプローチやラウンジの庭として再生することにしました(吉居)

保存すべきかどうかの判断は、どなたがするのですか?

「計画者」造園家、場合によっては樹木医も参加して協議します。樹齢があつても樹木としての生命力はそれぞれですから、ケアもしなければなりませんし、樹木の位置に合わせ建物や配置しにくい現場はいったん造園会社の植え溜まりに移植して保管し、建物が完成



talking member
名古屋マンション事業部

(左から順に)

- 石井 宏幸: 技術室 課長 / 一級建築士 / 一級建築・土木・造園施工管理技士 / 趣味はギター演奏 / 平日は仕事一筋、だから休日はまったりとリラックスを心がけています
- 吉居 豊充: 企画営業室 室長 / 宅地建物取引主任者 / 趣味はゴルフ / グラントメゾンに住んでいるのですが、古くなつたのでそろそろリフォームを検討中!
- 穂積 日記: 販売営業室 / 宅地建物取引主任者 / 福祉住環境コーディネーター二級 / 趣味は読書とショッピング / 今は寮に住んでいるので、お休みは実家に帰って愛犬と遊ぶのが楽しみなんです

してから植え戻す場合もあります(石井) それは大変な手間隙ですし、非常に高度な技が必要でしょうね。

「保管中に枯らしてしまつては元も子もありませんからね(笑)。GM白壁櫻明荘では樹齢150年という大きなムクノキも残したわけですが、それだけの大木となると地中の根も相当、大きく張っているわけです。しかしムクノキの立っている位置がちよつと地下駐車場のアプローチの際で、舗装が必要でした。そこで微小な孔を空けて、根の呼吸を妨げないように配慮したんです(石井)

「庭の場合ですと庭園としてのクオリティを判断して保存を決めますが、エントランスや住戸からの眺めに配慮して既存樹の位置を変えたり、場合によってはそこに新たに若木を足すこともあります(吉居)

「緑の質」というと古木、大木ばかりがクロイズアップされがちですが、生命力のある若木も大切なんです。そこに住む人たちがその成長を間近に見て楽しめますし、庭の中の生態系

樹々が、住宅集合としての「価値」を高める

地域の人々や元の所有者の方に喜ばれるということは、そこに住む方々にとっても幸福なことですね。

「近所の方が、あの立派な樹があるマンションとすくにわかつてくださって、会話が弾みやすいのが嬉しいと喜んでいただいたことがありませんし、ちょっと誇らしいような気持ちにもなるという感想もうかがいました。しかも立派な既存樹があればそこに住む皆さんのシンボルツリーとなつて、わが家感覚が高まる効果もあります」（穂積）

「深い緑、大きな梢など、既存樹を残して守ることで、真新しい建物に暮らす心地良さと共に、邸宅らしさや、風格を暮らし始めたときから提供することができます。質の高い緑はそこに住む皆さん共有の財産になりますし、不動産としての価値だけでなく、街のイメージや価値も高めると言っても良いでしょう」（吉居）



GM池下ザ・タワー（愛知県・2013年竣工予定）／駅近の超高層タワーとして、今、名古屋市内で注目を集めているマンション。計画地は地元の人々に愛されてきた愛知厚生年金会館の跡地で、プロジェクトはこの地を大切に受け継ぐことを使命として始動しました。敷地内には大きな庭園を計画しており、既存のクスノキの大木も大切に守りながら工事を進めています。（写真右：愛知厚生年金会館当時のクスノキ 写真上：工事中のクスノキ）



GM白壁櫻明荘／エントランス棟の玄関を入れ、カエデやイヌマキ、ドウダンツツジが見事な「書院の庭」を望めるホールになっています。住宅集合にふさわしい、由緒のある眺めとして保全しました。

時を経た樹木や庭は、一朝一夕では作ることができません。その土地の自然の一部となった樹々は、歳月によって培われた唯一無二のものなのです。本当の豊かさは、そんな、エイジングの美にこそあるのかもしれない。

そして複数の邸宅が集まって暮らす「住宅集合」だからこそ、手間隙をかけてでもその豊かさを受け継いで行きたいと願うのです。

住まい選びで街を歩くとき、大きな梢を持つ樹があれば足を止めてみてください。きつと、「いつも眺めていたい」と思う風景がそこにあるはずです。

深い緑、大きな梢は邸宅らしい表情を生み、そこに住まう「価値」を高めてくれます。（吉居）



GM芦屋平田町（兵庫県）／有名な芦屋浜の松林の風景を記憶にとどめたいと、敷地内の松を保存。松は移植が非常に困難であるため、建物計画や石積みの形状を松に合わせて設定しています。



GM高宮武番館（福岡県）／石積み擁壁とその上部にあった桜と松を保存しました。建物をセットバックさせて計画したので樹々の姿が映え、風景の美しさもいちだんと高まっています。



GM山手225（神奈川県）／樹齢のある樹々と共に、幾何学的なデザインが美しい堀も保全しました。この風景を生かすように建物はガラスの箱とし、透けたデザインにしています。



GM芦屋山手町（兵庫県）／周辺の土地の風景とつながるように、石積み擁壁とその上部の既存樹を保存。さらに新たに樹木を植えて、建物デザインとの調和を図りました。



GM南山ヴァンクール（愛知県）／既存樹は高さがあり枝張りも大きいので、美しい目隠しにもなります。樹木の下には生け垣と下草、石積みを重ね、邸宅街にふさわしい厚みのあるデザインに仕上がっています。



GM東戸塚（神奈川県）／大きな森をそごなく樹々を活かし、里山の風景を再生しました。敷地内には、四季折々の花が楽しめる散策路が巡っています。（第29回緑の都市賞／国土交通大臣賞受賞）